京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久太郞
印刷人 松久神一郞
發行所 京城西署西小門通（電話六六三） 京城新報社

雜報

清國の大豐作

淸國に於ける本年の米作は一般に豐作殊に淸國中最も豐饒なる米產地として古來淸人間に湖廣熟すれば天下足ると稱され居る湖南湖北兩省の如きは近年稀なる豐作なるが淸人の言に依れば稻穗の大なるもの驚くべきものありて例年ならば一穗につき七八十粒內外なりしも本年は百二三十粒と算し殆んど倍加せるあり只湖北の潛江縣及び湖南の常德府下の一部は六七月頃の大雨に依りて多少の水害を見たるもそは僅かに一部分にして兩省の全局面に亘れる豐穰に對し斯る一部の水害は優にこれを償ひ得て餘あることなり而も兩湖中最も豐穰なりしは湖北の荊州府安陸府等にして殊に公安縣の如きは數十年來未曾有の收穫を示し昌武、漢陽の各府もこれに亞げり斯る狀況なるを以て昨年以來飢饉に苦みつゝありし兩省の飢民は皆鼓腹して太平を謳歌し流乏せる多少の飢民等も皆その鄕土に歸復するに至り各地に蜂起したる飢民の紛擾又その後を斷ち地方官も爲に枕を高うすることを得曩に禁止せられし兩省米の輸出も解除せられ湖北米の如きは旣に一ケ月以前より淸國の漢口市場に上れるのみならず湖南米も亦同地市場に現はれ價格も頗る平順にして民心頓に上れるの觀ありといふ其他四川省は八步作江蘇浙江山東直隷の各省も又豐作にして滿州の大豆高粱は一割二步乃至五步の增收を見全國一般に良好なる作柄を示せりと

◉新設平南線の輸入

本月十六日より開通したる平南鐵道の客貨車收入狀況を聞くに開通以來四日間に平壤驛は客車收入一日平均八十圓內外貨車收入同上十圓內外乃至二十圓內外鎭南浦驛は客車收入一日平均百圓內外貨車收入同上二三十圓內外にして時に非常の高下あるも要するに好況に向ひつゝあり本線の收入は初め鐵道當局者に於て一日一哩平均收入四圓の豫定を以て計畫せるものなるに右に記すところ並に太平洞岐陽異池洞各驛の收入を加算する時は一日約八圓四十錢平均の收入に當り更に貨物の相當出荷あらば優に一日十圓平均の收入を得て鐵道經營の普通利益標準に達すべし平南線が斯く好成績を得るに反し兼二浦鎭南浦間の支線は三往復の所を二往復に減じ昨今は在來に比し收入半減の有樣なり尙貨物運送に就き鐵道側と荷物船との間に競爭を生じ勢ひ鐵道側にても割引を行ふ事となる可きが現今は兼二浦黃州間鐵道運賃一屯五十錢他に發着手數料三十錢合計八十錢又た水運は兼二浦より南浦に至る分南浦の解艀賃に共に八十錢なれば卽ち黃州南浦間は一屯一圓六十錢の貨物賃金を要する理なるが是等も平南線の運賃割引によりて影響する所少からざるべしと

京城局事業統計（五）

電信

年度別	發信通數	着信通數	料金（圓）
三一年	二、八四七	三、三三九	一七、五四六、〇六〇
三二年	一四、〇九二	一四、五四七	二一、〇五二、四八〇
三三年	一九、七〇七	一三、八〇二	一七、五〇〇、七二〇
三四年	三一、八三三	二六、七二九	九四、〇八四、五一〇
三五年	一九、七五二	二一、〇四七	六六、一九〇、八二〇
三六年	三三、〇七九	二九、七七六	一六一、一三五、九四〇
三七年	五三、七九六	五四、七四八	一〇〇、三六三、一四〇
三八年	七三、四七二	七八、〇九五	七九、七七九、八六〇
三九年	一二一、一八八	一一六、六六六	七四、五三七、七三五
四十年	一一二、三三五	一四九、四八七	一三七、四三六、五三五
四〇年	一二三、五三七	一五六、一七三	九六、四三三、〇七〇
四二年	一三九、三五〇	一七三、九二三	八五、九二六、三三五

備考

一電信通數料金が三十六年に於て著しく增加せるは戰役前各種通信の繁多なるに原因し三十七八年の戰時に引續き三十九年統監府設置に至る間及解來政府軍事新聞通信及商工業に關する電報通數は年々累加せり

一四十二年度の計數を三十二年度に對比するに發信九倍八割九分弱着信十一倍八割九分弱料金四倍〇八分强の增加を示せり

◉北朝鮮の金融商況

金融緩漫の大勢は未だ恢復に至らず朝鮮內地の銀行は概して懸金を抱藏して放資の途に苦しめりと云ふが當地の銀行も又其例に洩れず又一面商家の狀況を見るに小商人側に於ける恐慌杞憂により同業者間の警戒を促したるが故か遊金は頓に預金となり一段金融の不圓滿を見るに至れり又市場の實況を見るに打綿綿布類は賣行季節にして市況活氣を生じたりしも輸出品は殆ど皆無にして加ふるに雜穀類は新穀の收穫季に迫り大取引は一段落を告げたるより此等の資金は漸次回收して姑く新規貸出の必要無く今當地三銀行の帳尻を見るに預金貸越しは前月に比し九千百餘圓の增加を示したれども定期貸出は五千六百十圓を減退し荷爲替割引に於ては二萬九千三百四十餘圓の減數を見るに至れり如斯狀勢なるを以て銀行に於ても到底現在の利率を持續し能はざるが如き困難の狀を示せり然して一般の商況は季節柄打綿綿布類の輸入多く亦繩叺の入荷少からず加ふるに海產干鰯の如きは勃々出廻りを見るに至り前月末日日韓併合の發表は多少朝鮮人の騷擾を激起すべく豫期し居たるに案外靜穩なるのみならず免稅減租大赦の恩典は却て歡喜する處となり一般憂慮せし人氣も市況と共に稍引返したるも惜哉木綿粗布の如きは生產不足の爲め需要を充潤する能はず加之輸出品端境期の折柄雜貨類の賣行捗々しからず遂に常態に復すること能はず然れども之を前月に徵すれば漸く面目を一新せり（元山日本人商業會議所調査）

値下げ 一ヶ月分 金三十錢 京城新報

文苑

◎噫々夢　一美生

ガン〳〵と餘音嫋々樣の如くして絕たざる佛蘭西敎會堂の暮鐘は黃昏の宵闇を破り天の反響地の叫びを誘ひて今京城の空に鳴り渡つた開け放してあつた窓より這る秋風は涼しいと云ふよりモウ寧ろ今しも冬枯れ行く日を追ふ冷さとタと窓の障子を閉め切つた音を絕て韓人町の寂靜に聞ゆる砧の音思ひ出多き今日此頃を忍び獨り机に靠れ萬感の渦の裏に陷りて睡の中に囚れしを端なく肩打つに駭され胸浪うち漸く我が身にかはれば異し相に我が顏を見まもり居る親しき友我は友に先ヒロを開けり妖夢に襲れたり友よ五臟の疲れか夢見たり、ア、人情は暗中に挿ひ世路は到る處に陷穽を設け陰に陽に不誠を爲し今我が見たる夢の如し覺めての後初めて夢なりしと知れど坐に我が行く一人は轉た淒涼の感あり、と雜談に更せし秋の一夜寓居に歸る友を戶外に送れば空は全く掻き曇つて一天晦し

山中鹿之助　第一回　西尾麟慶演

今回新報社の御依賴に應じ尼子十勇士の傳を申し上ます、抑も尼子義久は中國十一州の大守で其身は播州三日月城に居られました、然るに毛利元就の爲に攻られ一度斷絕する場合に立至つた夫を山中鹿之助を初め五月早苗之助橫道兵庫之助早川鮎之助大谷古猪之助荒浪碇之助藪中茨之助寺本生死之助明家庵之助高橋亘之助なぞと云ふ變名組の勇士が主家再興を企謀まして、就中山中鹿之助は智勇共に勝れた人物で御座ひました故、此人を謀主と仰ぎ、尼子遺臣が集會て毛利を對手に花々しき戰をいたした勇しき御話で御座ひます、此の山中鹿之助の精忠に感じ明智光秀が一千人の兵を與へ、尙悲壯なる詩を贈つたと申します、然らば山中鹿之助が如何なる人物であるかは私が申すまでもなく御判になる事と存じます、冒頭は此位ゐで止めまして本文へかゝつて御話し致します。

義晴は洛陽に在も威令共に行はれず、弘治の頃は世は亂麻の如く、足利將軍人皇百六代、後奈良院の御宇亨祿天文將軍有るも無に等しく、九州には島津大友菊地龍造寺、東國には今川北條里見、北國には武田上杉村上諏訪の諸侯互に領地を擴め一日も早く京都へ乘込み將軍に代つて天下の實權を握らんと云ふ大野心ある爲、二六時中戰ひの止時は御座ひません、然し英雄豪傑には千歲の一遇、コンナ結構な世はあるまいと思ひました事と存じます、玆に信州葛尾の城主で村上左衞門尉義淸と云ふ者が御座ひます、父を顯國と云ひ幼名を武王丸と申しました、大永元年從四位下に叙し左衞門佐に任ず、其中甲州の武田に對抗した英雄で御座ひます家臣多き中に樂岩寺右馬之介井上九郞光興綿內左內相木市郞兵衞なぞは尤も優つた人物であつた、然るに相木市郞兵衞が主人義淸と意見の衝突いたした爲葛尾を立退て甲州の武田晴信の家來となつた、元來村上と武田は不和の間柄で御座いました故、相木市郞兵衞が武田に降つたと聞、大に怒りまして其甥の相木森之助と云ふ弱年ではあるが天晴れ物の役に立べき者を更に用ひず平士同樣の待遇ひを致しましたは義淸一生の不覺と後に至つて思ひ當りました、然し相木森之助は天をも咎めず人をも咎めず、暇あらば文武二道を研究して一朝事あらば主君の旗下に討死いたし、伯父市郞兵衞の罪を償ひ且は自分が今まで受たる君恩を報ずるの覺悟であります、斯の如き誠忠無二なる相木森之助とは知らず兎角村上義淸が餘所〳〵しく取計ふので家中の者も氣の毒に心得て居ります、スルと村上の家老に樂岩寺右馬之介と云ふ者が御座ひまして、是に更科と云ふ妙齡の娘が御座ひます、其姿の艶なるは昔への西施楊貴妃は物かは、我朝にては衣通姬小町も三舍を避るゝと思はるゝ程の美人然も力飽迄強く、能く千斤の鼎を擧げる、劍術は同家中に聞へたる井上九郞の門弟になりて數年研究を致せし甲斐あつて深山の門弟中此女に打勝つ者か御座ひません、勿論只強ひ計りではない、學文も御座ひまして和歌なぞは古人を凌ぐ程、且品行正しく親に孝且下には慈愛深く何一つ非を打つ處のない珍敷婦人で御座ひます、けれども自分が文武兩道の出來る丈け其心も中々氣高く、普通の男は夫にせぬ英雄豪傑にあらずんば夫にはせまじと心窃に誓ひました、中々今の海老茶式部が未來の學士角帽先生を覗ふやうなそんナ小さな理想では御座ひません、英雄豪傑でなければ亭主にせぬと云ふので、然し當今は大分英雄豪傑の相場も下落しまして、湯屋杯に出懸けた歸りに「オイ豪傑俺の下駄を出してくれ」湯屋の下足番が豪傑の稱號を與へられる位ですから、下落をしたに相違御座ひません、處が此の更科の意中の人物に適當致したのが例の相木森之助で御座ひます。

廣告

●諸公債諸株券 現物賣買、迅速確實に御取扱可申候 兼業 既製洋服御小賣 諸官衙御用達
京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店 電話九川九

藥學ノ大進步難治ノ淋病（淋病せうかちは意外に限る）淋病[illegible]ルーニミラス

●驚くべき淋病消渴專門藥の大發見

◉淋病消渴の危險

抑淋病消渴は急性の際には膿汁强く疼痛烈しくして放任するか療法の不適當なるか不攝生なるかに由つて男子に於ては急性副睪丸炎女子に於ては急性子宮內膜炎卵巢炎等を起し不妊の原因となり慢性となりて膀胱加答兒尿閉等を起すの危險あり慢性さて一日も忽諸に付すべからざる疾患なりとす

◉淋病消渴に於ける現時療法の有樣

淋病消渴は比較的頑固の疾病にして急性の際と雖ども患者の忍耐と療法並に攝生法の適當ならざるに於ては全治に至る甚だ困難なりとす況んや慢性のものをや是諸大家の苦心研究せらるゝ所以なり然れども惜い哉未だ充分の効果を奏する根治藥は發見せられざりしなり

◉淋病消渴專門藥の大發見

淋病消渴の療法前記の如くなるは弊堂の多年憂ひさせし所なり然るに今回發見せられし藥劑は淋病消渴の特効藥にして全世界を驚動せしめたる稀に見る一大發見藥なりとす故に如何なる慢性頑固の淋病せうかちさへ雖も忽ちにして全治するを得るに至れり

◉淋病消渴專門藥意外の特色

一意外は右の一大發見藥を主藥とせり
一意外は如何なる慢性頑固の淋病せうかちと雖も利尿を良くし淋病菌を滅殺し炎症を消散せしめ忽ち全治せしむ
一意外は淋病消渴の特効藥なるが故に忽ちにして顯著の大効を奏す故に一週間分服用大効なくんば決して服用せられざらん事を希望す如何さなれば數萬人の實驗は此希望を確實に證明すればなり
一意外は發賣後日極て淺きに係らず多數の禮狀を有す

（禮狀）拜啓貴堂御發賣の淋病新藥「意外」二週間分御送附御願申服藥仕候處意外にも一週日にして全治仕候近頃世に珍らしき新藥に候此にあつく御禮申上候右御禮のみ頓首 相模藤澤町 太田某
東京岡田順天堂御中

意外注文方法
本劑は原料高價なる故特別取次店の外差出不申候に付御入用の御方は市內は特に電話又はハガキにて御申越被下候はゞ直に御届可申遠國の御方は振替送金又は郵便爲替にて御注文着金次第御送可申候
▲意外藥價……七日分壹圓四十錢送料四錢▼
▲……二週間分强金貳圓八十錢送料六錢▼
便利新製

發賣元 東京市淺草區並木町廿二番地 特電話下谷千三百八十二番 振替口座五九八六番 岡田順天堂
關西發賣元 大阪市高麗橋筋松屋町通り 岡田順天堂支店

特別取次店
京城南大門通 新井藥房 神田區鍋町 大木會社 神田橋本町 福井商會 神田錦町 日本賣藥會社 日本橋瀨戶物町 玉置商會 日本橋通二丁目 中田支店 大阪市博勞町 高橋分店 大阪市平野町 丹平分店 京都市柳馬場 中庄兵衛 名古屋市廣小路 小田林盛大堂 陸中久瀨町 山田藥店 天誠村 笹原分店 函館辨天町 國領平七 函館地藏町 白崎藥店 豐前司門港町 三淵萬吉店

大學蓄音器●葉卷煙及莨●洋酒類新荷着 歐米雜貨 洋酒 食料品 洋煙草類 金銀屬美術品 直輸入商 漢城美術品製作所製品特約販賣所 京城本町二丁目 辻屋 本店電話一四八 支店電話三六六 韓國振替口座八七

京城新報

郵便電信鐵道學校を設けよ

經費の節減と朝鮮人及び移住民子弟の利用

朝鮮に於ける通信及鐵道の經費は、總督府歲出豫算の大なる部分を成して居るものである。併し是等に依つて得らるべき歲入を以て其を償はんには頗ぶる多額の不足を告ぐるのである。然るに併合の結果多數の內地人が半島の各地方に分布さるゝに伴ひ漸次通信機關は擴張せらるべく、隨て臨時費經常費の增大を來たすは勿論、尙は近く起工せられんとする湖南及京元二鐵路は工事の進捗するに從ひ、年々經費の遞加を見るべきである、而かも余輩の想像する處を以てすれば內地人の半島移住者が如何に急速に增殖すとも、又半島の產業が如何に急遽なる發展を遂ぐるとも、通信及鐵道が收支相償ふに至らんは前途尙幾多の歲月を經ねばならぬ、這は誠に止むを得ざる事ながら、經費の節し得べきものは即ち之れを節して收支の差をして少からしむることは爲政者當然の務めである。

於此乎余輩は、主として經費節約の一法として且つ諸種の利益と便宜とを併せ得んが爲めに、郵便電信及鐵道學校設立の必要を提唱する、云ふ迄も無く鐵道なり通信官署なり甚だ多くの從事員を要し、同時にこれに給與すべき金額は兩者の費目中最大なるものゝ一である、今半島に於ける是等從事員の殆んど全部は、內地人を以て之れに充てつゝあるに於て、殊に在勤俸の支給を要し、經費は著しく增加されつゝあるのだ、設し余輩の提唱する郵便電信及鐵道學校にして設立されんか、而して日鮮人の子弟を等しく收容して養成されんか、其利益は洵に多方面に涉る、第一は朝鮮人に對しては在勤俸を節し得、第二は地方に在勤せる內地人從事員は兎角神系衰弱に罹る者多く、爲に絕ず交迭せしめざるを得ぬと云ふ、鮮人ならんには斯る憂虞は無いのである、之も亦經費の節約を助くる、第三は在朝鮮內地人の子弟は商業學校の外、專門的知識を授くる學校無く、中學の課程を卒へたる者も父兄の資力足らざるが爲に專門の學術を修むる能はざるもあらう、去ばとて其のまゝにして職を求むるとは困難である、郵便電信及鐵道學校の設立は此の不備の幾分を補ふことが出來る、此の外朝鮮人を敎養して從事員たらしむれば新敎育ある青年者をして徒食せしめざる點に於て、朝鮮特殊の事情に適應する點に於て、殊に風土の關係上罹病者少なき等の點に於て、欲する處決して尠少ならざるものがある、往年京釜鐵道は數多の朝鮮人を從事員に採用した、又帝國政府が元の韓國政府より通信事務の委任を受けし當時、條約に依りて多數の從事員を使用した、然ども今日に於て尙職に在るは十が一にも足らざる數である、或曰く、朝鮮人は遲鈍である、怠惰である殊に秘密を要する通信事務の如きに携はらしむるは危險なりと、余輩謂らく之れを敎養すべし、之れを訓練すべし、又特に機密たるべき事務は之れを執らしむるの必要なからん、若し夫れ普通の意味に於ける通信の秘密を保つことの如きは、敎養と訓練に依て能く成され得べく、これをしも憂慮すべしとならば、現在郵便電信の集配人すら朝鮮人を使用するは頗ぶる危險に屬すと爲すべきであらう。

頃者總督府は通信書記補試驗規則を制定發布した、同規則は日鮮人一列に受驗の資格有るものと成されてある、這は余輩が叙上の主張と合致する、とは云へ敎養訓練されざる朝鮮人を唯一回の試驗を經て採用したる結果は、曾て京釜鐵道及通信管理局が經驗したる朝鮮人不可用の嘆聲を發するに了るの虞れは無きか、兎もあれ余輩は當局者が余輩の提唱に聽いて郵便電信及鐵道學校を設立せんことを切望する。

東京電報

▲新年の御歌勅題 新年御歌會の勅題は「寒月梅花を照す」にして詠進は一月十日迄なり 廿八日

▲載洵殿下の午餐會 載洵殿下には廿七日芝離宮に宮內府高等文武官を招待せられ告別の午餐會を開かれしが終つて東京市の招待會に臨ませられ後ち滿鐵主催の歌舞伎演劇を御覽あり頗る滿足に見受けられたり(同上)

▲寺內總督の參內 寺內總督は今二十八日午前十一時外波武官、見玉秘書官等を隨へ參內御座所に於て拜謁仰付けられ後ち御陪食を賜りたり(同上)

▲海底電線の買收濟 對馬釜山間海底電信は十六萬圓を以て大北電信會社より買收十一月以後政府の所有に歸することゝ成れり(同上)

▲電報の値下料金 既電の如く對釜間海底電線は大北會社より引受け遞信省の管轄となれるに付き電報料は從來の七字一音信三十錢制を十五字音信四十錢に改定せられ來月發表せらるべし尙ほ新聞電報は五十字四十錢なりと(同上)

▲朝鮮貴族の席次 朝鮮貴族の宮中席次に關しては近く天長節の賀宴に招待の都合あるより目下宮內省に於ては取急ぎ調査中なりと

▲選擧法改正の遲延 衆議院議員選擧法中改正法律案は公布せられたが樞密院が八箇月に亘り愼重調査せしは憲法制定に與りし某顧問官の議論出で政府も意外に感ぜし所なりと本案の施行は公布の日より二十日後なるを以て目下公判中の代議士は同案施行後判決を受くるに於ては上告審の決定迄資格を保留し得る次第なりと(同上)

▲石油界の大競爭 石油界の競爭は劇々激烈を極め時價以那邊に達するや計り難き有樣にてスタンダードは虎印を十五錢引下げライジングサンは今明日中に二十錢引下げの內議あり寶田は市內を限り十五錢方引下げて協定當時より八十五錢の下値となり一箱二圓二十錢見當となれり(同上)

▲載洵殿下の御退京 芝離宮御滯在國賓の優遇を受けさせられし載洵殿下一行は今二十八日午後四時新橋發車にて御退京遊されたり停車場には兩陛下御名代を始め各皇族大臣各國大公使其他朝野の見送人數百名頗る盛なり(同上)

▲李王家職員所屬 李王家職制は寺內總督と法制局との間に打合中なるが職員の半數は宮內省に屬し半數は總督府に屬するもの如しと云ふ

▲製鋼社債の好況 日本製鋼所社債一千万圓募集は愈々締切り大体に於て千五百三十万圓迄動かざる所にして或は多少の增減を見るに至るべし(同上)

▲日本醬油の解散 日本醬油會社は去る十三日を以て全債務の辨濟決了したれば來十一月五日臨時株主總會を開き解散の決議をなす筈なり

▲盛砲射擊の成績 去八月來大港に於ける第一艦隊並に橫須賀舞鶴兩鎭守府豫備艦隊及び廣島灣に於ける第二艦隊、吳、佐世保兩鎭守府豫備艦隊、艦砲射擊演習は目下其成績調査中なるが來月下旬の敎育年度末迄には發表し優勝旗を與ふる筈(同上)

▲日英博出品積戻 日英博出品の我國寶及び古美術品は見島丸に積

東京電報

[illegible]議員選擧法改正案即ち第十一條第四項削除に依り恩典浴しゝるもの は政友會にて川島鑑夫、藻寄鐵五郎 中村彌治郎、國民黨にて大熊三之助 [illegible]

▲海軍將校の轉補 艦長及要港參謀長の轉補左の如し

竹敷要港部參謀長 海軍大佐 木村剛
免本職補日進艦長
日進艦長海軍大佐 山中柴吉
待命被仰付
千歲艦長海軍大佐 釜屋六郎
免本職補竹敷要港部參謀長
音羽艦長海軍大佐 榊原忠三郎
免本職補千歲艦長
比叡艦長海軍大佐 志摩猛
免本職補音羽艦長

公人私人

▲水谷千万吉(平壤鑛業所次長) 二十七日平壤より入京浦尾へ投宿
▲江木翼(拓殖第二部長) 二十七日平壤より入京天眞樓へ投宿
▲矢野術松(鐵道院副參事) 二十七日[illegible]
▲下田文吾(鐵道院技師) 同上
▲山田鐵太郎(陸軍一等主計) 二十七日砂里院行

▲仁川米豆取引所▼
▲前場(廿八日) 十二月一節八圓十錢[illegible]六錢七錢八錢七錢六錢五錢四錢五錢六錢▲二節九十七錢八錢七錢八錢九圓一錢九圓一錢二錢三錢四錢五錢三錢四錢五錢七錢六錢▲三節七錢
▲後場(同上) 十二月一節九圓十三錢[illegible]十錢八錢七錢八錢九錢十錢九錢十錢九錢[illegible]▲三節四錢二錢九圓二錢三錢[illegible]一錢八圓九十八錢九圓八圓九十九錢
▲出來高九千三百石

▲大阪期米電報▼
▲前場(廿八日) 十月限寄[illegible]
▲後場 十月限寄十五圓五十五錢止[illegible]十六錢▲十一月限寄九十錢止八十六錢▲十二月限寄十五圓五錢止十五圓十六錢

奉天電報

▲清交涉使の辭意 奉天交涉使韓國鈞は最近淸國の排日思想は兩國の交涉をして益々困難に陷らしめ殆んど手の下し樣なきより近日辭表を總督に差出すべし(廿八日)

雜報

各地海關と朝鮮

朝鮮に於ける稅關手續の甚しく煩苛なるは一般に認むる處にして之が爲嫌あるは一品の通關にも多大の時間を要するは大に遺憾とする處なり然るにも拘はらず今回の新官制は從來の定員を尙は大に減數したる爲め一層の緩漫を釀因し商業上至大の影響を及ぼすに到る可く當地商業會議所は來月十一日より開會すべき聯合會に對し通關の敏速を圖る爲め其檢査官吏の增員を要望すべく該建議案を提出する筈なり而して之に關し當事者が各地稅關と朝鮮との比較を爲したるものあり左に之を揭表せんに

地名	申告件數	檢查官吏	一人の取扱
橫濱	七一、三三六	四七	一、五一七
神戶	六一、一八八	三七	一、六五四
大阪	一五、三三七	二〇	[illegible]七
長崎	六、五三三	一一	五九三
門司	一五、四〇三	一三	一、一八五
函館	九〇三	七	一二九
臺灣	二三、五七四	二四	九八二
仁川	七四、六七二	九	八、二九七
釜山	八二、六八二	七	一一、八二三
元山	三一、二九四	六	六、二三九
鎭南浦	二八、三九八	五	四、七三三

即ち本表は昨四十二年の現在によるものなるが申告件數に於ても仁川釜山は橫濱神戶の上に位するに之に從事する檢査官吏は其六分の一に過ぎず隨て一人の取扱數彼は千五六百なるに比し仁川釜山は八千乃至一萬一千餘の多きを見る斯かる次第なれば如何に敏速なるを得んと欲するも到底望むべからざるなり故に同商業會議所は極力聯合會の同意を求め總督府に迫らん筈なり

●調査局員の養成 臨時土地調査局務員養成所にては今回土地調査事業に從事すべき朝鮮總督府臨時土地調査局事務員及測量技術員を養成する爲事務員六十名技術員百五十名の學員を募集し來る十一月十四日入學試驗を執行し終業一年にして臨時土地調査局に雇用する由尙ほ大邱農林學校にも技術員五十名平壤農學校に技術員三十名を養成する事となり何れも同日入學試驗執行卒業後は同じく臨時土地調査局に於て雇用す可しと云ふ

●李太王殿下の行啓 德壽宮李太王殿下には先年政變以來王宮外に行啓せらるゝこと極めて稀にして昌德宮には未だ一回の御訪問すら無く兼て李王殿下より臨御を勸められたりしこと數回なりしと漏れ聞けり然るに其後時局も全く變改し昌德宮の秋色も今は絕好の期節なれば御苑觀覽旁々近く御成あるべしと聞く

●定例長官會議開催 二十八日午前十一時より總督府に於て定例長官會議を開く山縣政務總監初め荒井、木內、有吉、宇佐美の各部長官[illegible]副總裁池田、大屋の兩局長、明石警務總長、安住司法部書記官列席す

鮮米用途並に改良

年々內地に輸出せらるゝ朝鮮米の用途並に其改良を要する點に就き過般農商工部の照會に對し神戶米穀取引所より調査回答し來れる所を聞くに左の如し▲朝鮮米の內地に於ける需要は重に食用にして未だ醸造用に供せるものなく糊用としては碎米を使用す多くは近國に輸送され神戶にて消費するは比較的引取らるゝ需用者も朝鮮米として買はざるを知つて忌む模樣なし▲神戶港を仲繼として海外に輸出さるゝもの每年巨額に達し昨年は五萬六千石餘にて價格は內地米に比し一石二圓方下位にあり內地米の代用として歐米に輸出せられ其の用途は重に糊の材料なり▲之れが改良策として最も當業者の希望せる所は調製を十分に爲すことにして現に本年の如きも乾燥不十分なりし爲め變質腐蝕せるもの數多あり凡て朝鮮米は內地に於て再び調製をなさゞれば一寥なし▲品質に於て內地產(北國其他の米類)に比し甘味に富むを長所とす需要の重なる理由は廉價なるにあり即ち中以下は之を混交して用ゐ或は下等米の代用とす短所は乾燥の不充分と調製の亂雜就中石の混入は再調製せざれば食用に供する能はず米質の脆弱もまた缺點と云はざる可らず▲一般小賣商に朝鮮米として賣出さるゝも內地、海外米と或は混交して使用せるを以て商人間朝鮮米として一般に取切使用することを得ざる有樣なれば此際之等の點に就き十分考究して改良と共に內地の需用を增加するのみならず海外輸出に於ても頗る有望なることを疑ふ可らざる所なり

本社主催 日鮮人合同

奉祝天長節大提灯行列

一、日人側總指揮官 古城民團長
　　鮮人側總指揮官 兪府民會長

一、參加人員豫定 一萬人
各商工團體、各銀行、會社、病院、諸學校生徒、鐵道局其他一般官民但し十二歲以下の少年者を入れず

▲行列順序

一、集合場所 景福宮光化門前の廣場
一、集合時間 午後五時
一、出發時間 午後六時
一、軍樂隊を先登に立て順路光化門前より長谷川町に出て府廳前本町一丁目を左に折れ本町通りを通過し新町に出で新町より大和町に出て直行日の出町を通過し日の出町小學校角より左に折れ總督邸に達し茲にて天皇陛下の萬歲を三唱し右倭城台に登り大神宮前に於て万歲を唱へて解散す
一、參加者心得 參加者は何等費用を要せず尤も各自の提灯と蠟燭とを用意せらるべし
但提灯は日本、朝鮮其の他何種類にても差支なし

本年の天長節は併合後の第一の佳節なり此際に於て日鮮兩民合同して聖壽を祝するは快亦た快事なり因つて本社は其筋の認可を經て奉祝の計畫を爲す、有志日鮮人諸君奮つて御參加あらんことを

京城新報社

●江木部長學事視察 拓殖局第二部長江木翼氏には廿七日夜入京し天眞樓投宿中なるが廿八日午前中關屋學務局長より朝鮮敎育上に關する舊學部編成の印刷冊子十數部の送致を受けしが昨今は學務局員の案內にて城內名稱學校の代表的學校並に工業傳習所等を視察せる筈なり

●田所參事官の入京 豫記の如く田所文部省參事官は二十八日開城着同地方學事狀況視察の上二十九日午後七時南大門驛着列車にて山縣屬と與に入京の筈なり滯京は四日間位にして三十日は纛島の園藝模範場を視察し翌日よりは官公私立の各學校を汎ねく巡視すべき日程なり

●東拓監理官の任命 度支部司稅局長鈴木穆氏は今般東洋拓殖會社監理官を命ぜられたり

●韓銀監理官の任命 總督府書記官藤原正文氏は今般韓國銀行監理官を命ぜられたりと云ふ

●松永師團長の歸任 松永師團長は二十九日午前十時二十三分開城發の列車にて歸任する筈なり

●土地收容法脫稿 舊內部土木局に於て起稿中なりし土地收容法は最近脫稿の運となり目下審査中なるが愈々發布さるゝは來月末なるべしと

●宇佐川總裁東上 宇佐川總裁は重要なる社用を帶び來月上旬東上する由なるが往復約三週間の豫定なりと

●明治大學校友會 明治大學校友會は今般農商工部會計課長たりし四王天數馬氏及法學校學監岩間亨氏の送別を兼ね二十七日午後五時三十分より井門樓に於て開催されたり重なる出席者は渡邊高等法院長を初めとし同院岩野判事京城控訴院寺田檢事山口判事其他廿二人にして高橋幹事より會員を代表して挨拶を述べ四王天氏答辭を述べ夫れより酒宴に移り餘興として鈴木巴水氏の講談其の他藝妓の手踊等にて午後九時四十分閉會非常の盛會なりしと

●黑岩技師の歸東 元農商工部技師黑岩休太郎氏は二十九日夜行列車にて出發歸東の筈なり尙は東京は麻布區本村町百七十二番地に寓居さるゝ由

●記者團の送迎會 大阪朝日特派員山本桃洲氏今回本社詰となり岡野告天子新に當地詰となりしを以て京城記者團は二十八日夜花月に送迎會を催せり

▲京城手形交換高▼

十月	金高	枚數
廿八日	九七、九五三、一五	二七七

▲仁川港の出入船舶▼
▲秀吉丸 廿九日大坂門司神戶を經入港
▲香椎丸 同午後四時唐津へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼
▲南大門驛乘降客 廿七日の分如左
乘降客 六七〇 下車客 七五九
乘車賃金 一六一七、五一
▲南大門荷物扱高 廿七日の分如左
發送 九六屯 到着 四一七屯
發送賃金 八一五、〇五
▲龍山驛の乘降客 廿七日の分如左
乘車客 二二一 下車客 三九〇
乘車賃金 二二八三、四五
▲龍山驛荷物扱高 廿七日の分如左
發送 七屯 到着 一七四噸
發送賃金 七四、〇九

▲治外法權▼

月日の經過の早いもので、一年一ヘン開く商業會議所聯合會の時になつた、統一的代議機關の皆無な半島に於ては本聯合會を目して唯一の移住民議會とでも稱すべきか▲ソレは扨置き各會議所が本年の會に呈出する種々の建議案は昨本紙に發表した通りで、ドレもコレも最要な物ばかりだ、併し記者には記者の意見がある、因つて少しく左に卑見を齎てう▲露骨に云へば各會議所の提出案は餘りに地方的だ、假令ば群山に急なる者も元山には不急の者もある、で、ギリギリ結着之こそ本當に半島全般に亙る重要問題と云ふはまづ第一が輸出移出稅の廢止だ、斯は總督府が何と云ふか知らぬが、苟くも半島產業の振興を計らんとするには聯合會は主として本稅の廢止に力爭せねばならぬ▲第二は特種銀行若しくは拓殖銀行設置の問題だが、已に東拓金融部及農工銀行の在る今日、新たに銀行の設置を要するかドウか、記者の見を以てすれば聯合會は寧ろ東拓及農銀利用の途を講ずるが良からう▲第三は今後の會議所を從來の儘で置くか將たドウか、委敷云へば今後の會議所を會員組織にして朝鮮人をも納れ、課金制を廢して會費制とするかドウか▲惟ふに會議所は商業上社會上重要な機關だ、併し課金の問題でイツでも惱んで居る、斯はドウしても何とかせずばなるまい▲鈴木局長が東拓監理官になつた、コレで本當の監理官が出來た、藤原書記官の韓銀監理官居据は素より當然の事だ▲政務總監の天長節園遊會招待狀にフロックコート若しくは同相當禮服着用とある平民たる記者は抗議を云はねばならぬ▲まづ第一に世界のドコのガアデン、パアテーに大禮服を着て出るものか、茲でもソウだ、役人でも軍人でも制服乃ち仕事着で出て來る、平民の爲にはフロックコートは大禮服だ、而るに他は仕事着で、平民だけには大禮服で出て來いとはオカシナ事だ。

東京電報

[illegible]法恩赦者 未決

院議員選擧法改正案即ち第十一條第四項削除に依り恩典に浴したるものは政友會にて川島鉄夫、澤音鐵五郎、中村[illegible]、國民黨にて大熊三之助、中央派にて岡井秀之丞の諸氏なり

▲海軍將校の轉補 艦長及要港部參謀長の轉補左の如し

発本職補呂號艦長 竹敷要港部參謀長海軍大佐 木村剛
待命被仰付 日進艦長海軍大佐 山中柴吉
発本職補竹敷要港部參謀長 千歳艦長海軍大佐 釜屋六郎
発本職補千歳艦長 音羽艦長海軍大佐 榊原忠三郎
発本職補音羽艦長 比叡艦長海軍大佐 志摩猛

公人私人

▲水谷千万吉(平壌鑛業所次長) 二十七日平壌より入京浦尾へ投宿
▲江木翼(拓殖第二部長) 二十七日平壌より入京天真樓へ投宿
▲矢野剛松(鐵道院副參事) 二十七日釜山行
▲下田文吾(鐵道院技師) 同上
▲山田鎌太郎(陸軍一等主計) 二十七日砂里院行

大提灯行列彙報

(廿八日正午迄の分)

別項社告の通り本社主催天長節奉祝提灯行列の參加者左の如し

▲漢城病院▲歌舞伎座音樂隊▲日韓瓦斯會社▲東亞煙草會社▲龜屋商店▲青木堂▲辻屋商店▲日韓書房▲山邑酒店▲三巴酒店▲京城吳服商組合▲京城時計商組合▲三井物產會社▲韓國銀行▲十八銀行▲第一銀行▲百三十銀行▲天一銀行▲韓一銀行▲漢湖農工銀行▲漢城銀行▲鐵道局▲東洋協會學校▲工業傳習所、外國語學校、師範學校、畿湖學校▲基督敎青年會▲日鮮兩商業會議所(以上廿六日紙上掲載の部)▲織居、瀧川、福田各自轉車店▲日韓印刷▲藤田合名會社▲東活版所▲京城商業會社▲大塚酒店▲第二小學生▲印刷局▲救世軍▲佛敎團體▲善隣商業學校(以上廿七日)

▲日出小學校 高等科生並に職員全部 第二小學校の參加する事は既報の如くなるが日の出小學校も參加することに決定せり

▲質屋組合 百六十戸も參加 當地質屋組合も參加する旨昨日申込ありたり

▲青年力行團 東洋青年力行團當地幹部一同も大行列に加はり度旨同團小林六三郎氏より申込ありたり

▲龍山の計劃 龍山方面は既報の如く各衛生組長間に於て協議中なるが本社は定刻前同方面に社員數名を派し一個所に之を集中し順路を繰りつゝ入城する筈にて目下計劃中なり

▲本町一丁目 全部は各戸より必ず一人以上を出すことに決定し目下準備に忙はしと云り

▲雜貨商組合 當地實業團中での大團体たる雜貨商組合に於ても本社の提灯行列に參加することに決定し昨日申込ありたり

野中推弘檢事局に送らる

▽和歌山の家主人の告訴にて 東京市京橋區東湊町一丁目七番地當時龍山榮町百三十一番戸野中推弘(三六)は龍山老松町なる池上善之助の現住居家屋を三千圓にて譲り受けし形式にて金二千圓を貸與したる所其後三千圓の證書を作成して請求したりとかにて紛爭を生じたるも仲裁するものありて借用金及び保險料立替金二百五十圓支拂事濟となりしが此れより先き池上善之助が該金額借用中本年三月頃火災保險の期限切れたるより推弘は善之助に保險を掛ける樣請求し明治保險は率高きにより外國保險にせよと勸めしかど善之助は手元不如意なりとの事なるより半金取智へんとて三月廿四日午前十一時頃善之助宅に至り今より仁川なる外國保險へ掛金に行くとの事なりしが主人は病氣にて養生の爲内地に歸りし不在中とて妻ひさより五十圓を受取り仁川へ行き同日午後九時頃歸り來り此證書は預り置くとの事なりしが越へて四月十六日午前九時頃推弘が内緣の妻杉山トヨより急に金員の入用あるにより立替金五十圓を返し呉れとの電話なるより同十一時同家の抱藝者武村マスに持たせやりしが同家には主人は不在にてトヨのみ居たるよりトヨに渡し歸りたりとは池上側の云ひ分にて此の頃に至り右保險に附し居らざること判明したるより返金を迫りしも野中は然る覺へなしとて應せず先頃來紛擾中なりしが遂に善之助より使用せる雜記帳を證據として龍山署へ訴へ出でしより取調の結果推弘は詐欺取財として二十七日檢事局へ送られたるが双方ども少々臭い樣なり

着京後の兒獅子

▽大さは動物園の虎位 既報京都より渡鮮來京せる兒獅子は南大門驛プラットホーム先の空地に狹き檻の中にて起臥し居れるが初の程は馴れぬ初旅殊には懷かしの母獅子に離れて何んとやら物思はしげの風情ありしがそれも束の間此頃にては極めて呑氣に活潑に生活なし居れり食事は毎日朝夕の二回と定め一回一頭に付き牛肉三百目牛乳四合宛にて可笑しきは空腹になればウー〳〵と吼ゆ出し食物を與ふれば嬉々として食ひ又食事終りし時付添人よりモーお終ひ〳〵と云へばよく聞分くるなどまことに無邪氣にて可愛く今年二才にて大さは動物園の虎位なり近々李王家との談合調ひ動物園に入ることゝもならば定めて大人氣を得ることとなるべし

●侍從尻を撲らる

西部北門洞十八統五戸前侍從尹範植(四一)西部内樓井洞南班金基鉉(四四)北部豆錫洞十八統七戸金容鎭(三六)北部小安洞九統十二戸朴錫學(三三)の四名は相當に名ある者ながら二十五日午後十一時頃北部小安洞九統六戸朴仁齊方に於て金錢を賭し博奕を爲し居る現場を水門洞分署巡査に押へられ笞刑三十に處せらる

●賭博最中に御用

熊本縣天草生當時仁川京町二丁目樋口高八(四三)同縣生當時新町一丁目中村金太郎(四七)同寺町二丁目勝藏方松本菊次郎(四六)同龍岡町二丁目坂本喜徳内緣の妻田中しげ(三三)は廿七日午後九時龍岡町二丁目田中方温突にて金錢を賭して花合戰の最中警官に踏込れ樋口中村田中の三人は取押へられ現場にありし花札及掛金八十錢を押收し本署へ引致し取調中

●仲人の結納金橫領

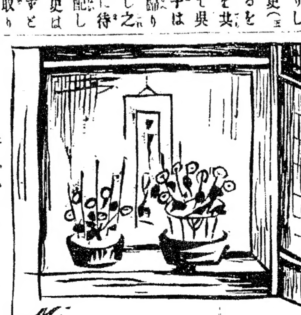
黃海道延安郡東部下麻里統戸不詳農金千浩(五十)が息子に嫁を貰らはんとて本月上旬京城に至り先つ其の事を知人なる京城西部孔德里栗木洞七十七統二戸朴益東に話したる處朴は其事を中部泥洞なる擔軍韓明道(四五)なる惡漢に話せし處一儲けせんとて中部宮洞の吳姓女(五〇)其の他の者ども計り諸所を尋ね居りしが宮洞七十一統四戸李憲聰方李召史(五三)の娘李姓女(一六)が仲々の美人なるを目出!早速話し込みし處一生苦樂を共にする人である故見合ひをせんとて吳姓女の家に來りたる時金千浩の息子は顏を隱して見せざるより立腹して歸りしが金千浩は六十圓を韓明道に渡し之を先方へ與へ呉れと賴むより待ちたる韓は其内三十圓を皆にて分配し三十圓のみ先方へ渡したるも李召史は受取らず金にて娘は他家へ緣付けすと踏み付けられしを幸ひ其金をも橫取りし居たるが一方金千浩は其後何の返事もなきより去る二十四日直接李召史方へ押し寄せ金を受取りながら娘を呉れぬ法はない是非貰らうて行くと一騷ぎ起せし處を巡廻中の巡査が認め引致取調べし結果右の始末と判明し金千浩へは韓が所持せる殘金四十九圓九十一錢を返し訓戒放還し韓明道吳姓女朴益東其他の關係者は目下取調中なり

菊のいろ〳〵(八)

▲生きた菊の上出來 大桝屋 京城樓の見物を終た僕は、忙しき花柳界の夕暮を訪れた、なんつてものは滊車の内に忘れて參りましたと云ふ顏付で人の迷惑なら三年來は好いと思つて居りますと竹さん

一百有餘の菊花

でも辛抱して試る了見ヅウ〳〵しく女ん病人ながら油斷のならんことを云ふ將に案内されて大廣間に通る、何處も同じ床を心に一百有餘の菊花は飾られてある美しいとか綺麗とかは何遍申上げても同じことは一つこと一つことは同じくとであるかられ察しに一任して扨中に稼業柄最も似合の名のがある、氣に入つた、ヅント氣に入つた、夫れは粹美人と云ふ、花にもね、野暮なた客の無理強ひをヤッと外して裏二階の燈もない廊下の欄干に昔しならば紫雪と云ふ處を此の頃丈けに仁丹か淸快丸を含んでツクヅクと勤めの辛さを身にしめて胸を抱いて凭れたもの〻如、斯う云ふ案配にウットリと立つて居る美人を見る如な趣がある同樓では元來主人の竹さんが專問に栽培に從事することになつて居るのであるが本年は春からして病氣で



新町遊廓 大桝屋樓上の菊

女將一人の手に成つた

あつたので甚だ出來が惡くてれ恥かしいど女將は內に引込した如自慢を言ふ、菊のある室から裏の方を覗ひて紅葉した木々に梢からして夜の幕を鎖されつゝある病人の竹さんも出て來て種々と話す、貴所の新聞に書いてあつた通り新町の菊は三十八年が初めでした、當時事務所の近藤さんが發起で皆春の石田さん第一樓の主人等が贊成して只今では

辻屋の別莊栽

になつて居る(南山町二丁目)所で培致すことになりました、本年は後の雨が非常に害をしまして出來が惡うムいます併し解語花の方の出來は好いと思つて居ります

●朝市場の大賣出

南大門朝市場にては從來主として朝鮮人のみの市場なりしを食料品直輸入商辻本嘉二郎氏等率先種々運動の結果同市場の裏手日韓共同倉庫會社の建物を借受け同市場を擴張して一大市場となし略々其準備も整ひたれば廿七日より午前午後とも賣出を開始せりと

●例の手の脅迫狀

二十六日午前九時頃延禧坊城山里內洞三統十戸崔順甲長男崔文在に宛左の如き脅迫狀を送りたるものあり

陰曆九月二十三日正十二時を期し金三千兩(日價六十圓)を延禧坊細橋里杵橋の處に持來るべし若し示定日時に持來らざれば汝の家に放火すべし云々、封筒の表には細橋里を越ゑて城山里崔石士宅納入、裏には京城小安洞李參判宅と記しあり發送日付不明其筋にては嚴探中

●氷屋の商賣變へ

兵庫縣氷上郡生郷村大字本郷八十三番戸當時龍山元町四丁目二十四番戸氷販賣業德田重太郎(四七)は二十二日午後七時頃隣家石橋すき方の不在に乘じ同家裏口より忍入り三ッ紋付女羽織一枚外十二點(代百六圓)を竊取二十四日京城に入質に來り櫻井町を彷徨の際南部署長野岸兩刑事に捕はれ裁判所に送られしが昨廿八日懲役二ケ月に處せらる

●盜でキンを蹴る

福岡縣人旭町一丁目百六十五番戸建築業遠藤孝兵衛(二二)は本年六月中旭町一丁目土木請負業大村保太より景福宮内に於ける家屋取崩しを依賴されたる際古材木を橫領し其他の者二八と金錢取引上の事より爭論の末腕力に訴へ毆打若しくは蹴りて傷害したる事件は爾來京城地方裁判所に於て審理中の所昨二十八日懲役一年六箇月に處せらる

●佛の罰で捕まる

北部長通坊東谷洞梁聖龍(一七)が東大門外新寺に忍入り佛像(代十圓)を竊取し路町五十七番戸永井德次郎方に賣却し居る事水門洞分署に探知され檢事局に送らる

●福壽草苗の分與

信濃國下高井郡延德村の宮島銀兵衛氏は各國優美草花の育成場として人の知らるゝ處なるが今回同氏は福壽草の產地として有名なる北信の福壽草にて極濃黃金色裏藍紫八重大々輪咲にて十二月上旬より滿開すべき強苗五本を一組とし一組毎に送料箱代共實費廿錢を送る人には直ちに送

▲平民文庫▼

▲○○病院の看護婦さん、貴女方は此の頃あまり晒けでチイバリだわ、チンカモするんなら四疊半でよ、二十四日夜○○館でれ目に懸つたかられ仲間入りをする男一人と思て私をれ嬲りなんですもの「色男」なんて…ホントに憎かつたワデもね電氣が消へてからつねられた時はシンから嬉しかつてよ(色男)▲習度生に答ふ、漢學御志望ならば旭町一丁目京城學舍內漢文科に入學せられよ(テーケー生)▲當欄に於て京城局の○○係に忠告して頂いたので此の頃は大層親切になりました貴紙の御蔭と有難く思ひます(感謝生)▲○○府用度係の三○さん○中さんは御商人より少なからぬ金員をせしめます相ですよ長官たる人懲戒せぬと役人の体面に關はりますよ(大和商店)▲近來新聞紙を利用して人の中傷を事とする者あり彼等の輩が遙々玄海灘を越へ朝鮮開拓などとは情なき次第僕は彼等が所爲を惜みます寧ろ心性の卑劣を暴露するを恐を憫む(博愛生)▲法律研究致し度と存ずますが数へて下さる所知りませんか又簿記學御教へ被下候御方御存じに候はゞ此れ又た教へ下され度願上候(兄弟)▲貴社主催の大灯提行列を祝す漢城の市民諸って贊成し玉へ(志無野手)▲志無野手君の同情を深謝す(社員一同)▲年齡二十歳以上三十歳未滿身体強壯なる事務員及び十五歳以上十八歳未滿の見習生入用希望者は自筆履歷書携帶至急來社ありたし但し市內に確實なる保證人を要す(明治町日韓印刷)

目と耳 (廿九日分)

▲壽座 川上派革新劇第二軍にあり、ほ郡山出男を加へたるれ馴染の新派劇御目見得狂言は一番目「江戸かなでし」二番目「人の親」等にて重なる役割如左 吉田屋宗一、漁夫幸兵衛(泉)新內みの代常盤津師匠政柴(花浦)手代直吉(吉井)は組源次伯爵、富次(谷)子分三太(長太)吉田君子、髮結たよし(小西)氏原米子、待合本たふさ(小神)助役服部路(五味)田中賢之助(江川)氏原敬五郎(青山)吉田道子(淺井)刑事吉岡秀二(秋葉)猩々の權太(笹村)子分市三、姉種子(白石)轟持竹五郎(一二三)吉田宗之助、氏原丁子(郡日出男)

▲浪花館 若遊三一座の代番組如左東の旅、道具や、無筆、矢かん、横根醫者、たらちね、高尾、なさぬなか、明鳥、ヴァイオリン、所作事

▲淫奔女 おときさん毎夜山口さんを引込と洋刀さんに知らせます(劇會社)▲忠告人

十日の運勢

●十月廿九日 舊九月廿六日 六白●佛滅●丁卯●執●△一白●隆盛の日大抵吉不動產の事及建築土木に忌む△二黑●旅行金錢貸借新事見込無し婚談示談中裁聯合共同の事に好し△三碧●新事見合せの事●負傷衛生注意すべし兒女の事累あり△四綠●金品授受印章證券貸借金錢訴訟紛紜起易し新事見合せの事△五黃●利得を失し機會を逸することあり尚人のため巳れを損することあり△六白●親族舊知の事に世話厄介あり證券印章の事故障起らんとす△七赤●取引貸借賣買見込遂多し競爭軋轢排擠に遭ふならん△八白●從者部下の事に累あり又交際上怒情を挑發され易し其他大抵進んで吉△九紫●人の身上に付き係累煩累あり盜難額領防ぐべし(三一裁判所)

第七期借貸對照表

資產之部

未拂込株金	七〇、〇〇〇・〇〇〇
諸貸附金	四一、〇〇〇・〇〇〇
不動產	一六、五七八、一二〇
營業用地所	一、〇〇〇・三七〇
建物及什器	一〇、五二〇・六四
假渡金	二、七一七・八〇八
銀	
合計	一、二九一、一〇四・二七

負債之部

資本金	一、〇〇、〇〇〇・〇〇〇
積立金	五五〇〇〇・〇〇〇
諸借金	一九一、四四〇・二〇
未拂利息	四四八・〇〇五
假受金	一八二〇九五・〇〇
純益金	二五、九六二・七〇
合計	一、二九一、一〇四・二七

損益計算

一 金四萬一千七百三圓四十七錢 當期總益金
一 金千六百八十六圓六十八錢 前期繰越金
合計金四万三千三百九十圓十五錢
內
金一萬七千四百二十七圓四十五錢 當期總損金

差引
金二万五千九百六十二圓七十錢 純益金
此分配計算左ノ如シ
金五千圓 積立金
金二千五百圓 滯貸準備金
金二千九百四十二圓八錢 賞與金
金一萬五千圓 配當金(即年一割之割)
金一千五百二十圓六十錢 後期繰越金
右之通候也
明治四十三年九月三十日

京城起業株式會社
取締役社長 山口太兵衛
專務取締役 和田常市
取締役 古城管堂
同 中村再造
同 關繁太郎
監査役 梶原末太郎
同 松尾福五郎
同 秋吉富太郎
前記ノ各項調査候處相違無之候也

廣告

拜啓小生京仁在職中は公私共不一方御懇情を蒙り難有奉謝候今般東京本社勤務を命せられ候に付ては廿五日朝南大門出發歸朝の途に就き申候實は出發前一々拜趨御挨拶可申上筈の處匆々の際缺禮仕候向も可有之不惡御諒恕被下度乍略儀以紙上御斷申上候 敬具

三井物產株式會社 藤木秀次郎

辱知各位

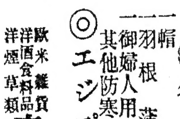
例年の通 ストーブ据付 烟突掃除受負

漢城衛生社 京城本町七丁目(電三一四番)

季節向 嶄新流行品揃御案内

●婦人小間物 ●御羽織紐
●珍柄半ゑり ●かたかけ
●其他婦人裝飾用荷揃致居申候
地方之御注文は代金引替を以て迅速に御送附申上候

小間物 化粧品 卸商 京城本町四丁目 百福號
電話七四六番 振替口座壹壹壹番



◎冬物新荷着
一帽子 毛シャツ
一羽根蒲團 膝掛 毛沓
一御婦人用肩掛 首巻 下布
其他防寒用具旅行用具一式
◎エジプト煙草新荷着
歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商 京城本町 辻屋
本店(電話二四八番) 支店(電話三六六番)

諸看板製作
油繪肖像畫●硝子金文字入 ペンキ塗工事大勉強請負
永樂町二丁目 赤門通り 棋野工舍

▲仁川米豆取引所▼
▲前場(廿八日) 十二月限 一節八圓十錢 二錢四錢七錢六錢七錢五錢七錢四錢 八錢七錢六錢五錢七錢四錢 ▲二節九十七錢八錢七錢 九圓一錢二錢三錢四錢 五錢七錢六錢 ▲三節七

▲大阪期米電報▼
[illegible]

●緊急廣告

所在 …町
建坪 …
一器具 …
一電話 …
右都合に依り至急賣却す希望の方は左記へ御來談被下度候
京城旭町二丁目十五番戸 電話一、四五六番

明治町月拔の場處にて米穀適店讓り渡したし
但店株、電話、造作付
姓名在社

古着、古道具
諸雜貨、疊建具
賣買處
京城永樂町二丁目
五十競賣所
電話一四〇七番

丸山醫院開業
診療時間 自午前八時 至午後九時
急病患者は何時にても診療す
京城南大門外吉野町一丁目五番戶
院長醫學得業士 丸山白
●看護婦見習生募集

內外科小兒科
產婦人徵毒科（入院隨意）
其他一般患者の診療に應ず
永樂町二丁目（特許局前）
池上醫院
醫學得業士 池上要吉
電話壹貳七壹番

支店開業御披露
今回左記の處に支店を開設し斯道に堪能なる板場を聘し精々勉強可仕候間本店同樣御愛顧御引立の程伏而奉願上候
天ぷら 鰻丼
手打 蕎麥 御料理
新ニ御膳更科合併蕎麥
其他御好に應じ調理多少に不拘仕出し仕候
京城南山町三丁目（電話五九八番）
天金本店
同 本町一丁目裏通民團前橫町
天金支店
（電話一四八〇番）

會席料理
大勉強
京城永樂町三丁目
酒道樂
電話一二七六番

弓打綿 製造販賣元
並に古綿も弓にて打直し致します
其他綿類一切特別大安賣
京城本町七丁目（郵便ポスト前）
深堀製綿所
取次電話千五百二十番

飲むだけ血になる
ポビナイン

大瓶二圓 四十錢
小瓶一圓
送料八錢
▲說明書は無代贈呈す

橫濱市境町
合資會社 友田商店
振替口座東京一九三八番
朝鮮代理店 京城本町郵便局前
山岸天佑堂
振替口座朝鮮二〇三番 電話三七二番

美の四箇條
一 肌理の細かなる顏は美なり
一 初々しく見ゆる顏は美なり
一 皮膚に光澤ある顏は美なり
一 血色の鮮かなる顏は美なり
此四箇條の要素を完からしめて、天然の美を更に一層發揮せしむるものクラブ洗粉を措て他にありや

最上醬油
釀造元
仁川港萬石町
高杉醬油釀造場
電話七六五番

大競爭 正札より
一割引賣出
來る二十四日より十一月二日まで
京城本町二丁目
電話九一九番
富田靴店

寫眞器械
藥品材料一切
旅行用娛樂用營業用
輸入
…四丁目
…寫眞機部
…二六二
…一三二

世帶道具は何でも有り升
外に宅ノ酩酒手ヨリ白米、和洋ローソク
上白シメ油、㊄醬油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉強販賣仕候間續々御用命奉願上候
日用雜貨 卸問屋 京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話二百十番 電略（ニカ）又ニ
振替貯金口座韓國七番

三製紙會社製造板紙特約店
洋紙各種
紙函封筒 諸袋類製造販賣
京城長谷川町二丁目
鼎商會
電話九百十八番

移轉御披露
弊館儀各位の御引立により日增隆昌に赴き候處從前の家屋にては手狹を感じ候まゝ今般業務擴張の爲め南山町四丁目（花月上隣）の新築家屋に移轉仕り候間此段廣告仕候也
京城南山町四丁目（花月上隣）
金澤旅館
電話一八一番
●上女中至急入用御來談ありたし

資本金五百萬圓
神戶海上運送火災保險株式會社
出張所 京城明治町一丁目
（電話一五四九）

清正 政宗 正則 釀造元
上酒 小賣壹升に付三十錢
御賣は特別割引可仕候
清酒 美淋 燒酎 並に日用食料品雜貨類
釀造元 京城壽町三丁目
中井酒造場販賣部
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候
電話百七十七番

新案 ㊈たびもた
和洋大物各種
堅牢で廉價な岩田織
京城本町一丁目 ㊈
栗原商店
電話四八三番
㊈出張店
京城本町五丁目壽座入口角

鐵…製紙用…精米用…織…
其他御好次第
右今般當店監獄作業部ニ於テ製造開始致候ニ付多少ニ不拘御用命御仰付被下度候也
和洋金物商
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番 電信略號「ク」
振替貯金口座朝鮮二五六番

義齒術全般
京城永樂町一丁目
永田正二
電話一四三二番

酒精アルコール
新荷着
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

義齒全般
龍山大島町
加藤民重郎

醇良清酒

京城明治町
大塚京城支店
（電話四百一番）

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

入院隨意
院長 醫學士 由利弘
副院長 醫學得業士 長尾乙二
慈惠會醫學士 尾上早見
東京醫科大學 菊池徹
撰科專攻
藥劑士 常盤光雄
仁川病院
電話十六番

特色 夜間撮影
河合寫眞館
電話一二六九

長崎流
○しるこ
○茶碗むし
○むし壽し
（出前も御好に應じ可申候）
南山町二丁目（南山湯上隣）
松その
（電話一一八五番）

定期米
買 ㊇ 賣
仁川米豆取引所仲買人
仁川本町四丁目 佐藤病院隣
廣澤正次郎
電話七〇一番

薄口醬油
や
時約販賣
仁川京城
高雄支店

瀛船出港廣告
月串、甕津、海州行
天草丸
安來丸
成歡丸
隔日出港
仁川港海岸通
（電話四一九）柴田回漕店

芙江 公州 間出帆廣告
芙江發 每日後一時（京城方面ヨリ急行接續）
公州發 每日前七時（京城方面行急行接續）
（荷客共御取扱可申候）
御用向ノ御方ハ（京城仁川鳥致院芙江公州）中條店へ御尋被下度候